



雪やこんこん♪ 楽しく登校!!

(長洲小学校)



潮さい

NAGASU 議会だより

2010. 2月発行 No.100
(平成22年)

12月定例会

下水道使用料値上げ

2~4

一般質問

改選後初定例会

7人が登壇

5~8

追跡レポート

9

臨時議会

ワクチン接種へ助成

10~11

傍聴席から一言

12

平成21年度 補正予算

一般会計722万円を追加 総額56億3,044万円に

平成21年度第4回定例会は12月10日開会し16日まで開かれた。町長提出議案は条例、規約の一部改正7件、財産取得1件、補正予算2件、人事案3件などあり、慎重審議において全議案可決された。一般質問には7人の議員が町政の考え方などを質問した。

平成21年度 一般会計補正予算

〈内容〉

歳入歳出それぞれ722万円を追加し、総額56億3044万円とする。

〈補正予算の概要〉

平成21年度の国の補正予算（麻生内閣時）で予算計上されていた、子育て応援特別手当が政権交代により、予算の執行が停止になったため、町の一般会計予算もそれに伴い減額するもの。
増額の要因は、後期高齢者医療特別会計の平成20年度の決算による、給付費負担金の返還金によるもの。

〔主な質疑〕

（樋口議員）

問 今回の補正予算に計上されている放課後子どもプラン連携促進事業の内容は。

（生涯学習課長）

答 放課後子ども教室が行われている、六栄小学校、長洲小学校において、学童保育の児童と連携して取り組むもので、共同で利用できる教材や地域ボランティアの人達と楽しめる運動用具（グラウンドゴルフ）の購入を考

（樋口議員）

問 文化振興費の公演委託料の内容は。

（生涯学習課長）

答 文化振興の目的で

3月7日（日）に未来館で開催する「音楽のおくりもの」ファミリーコンサートがその中味である。

（川本議員）

問 今回の補正予算で地域子育て応援対策費が1584万円減額になっている。楽しみにしていた保護者や子どもたちのために、町独自の支援は考えられなかったのか。

（町長）

答 厚生労働大臣 長妻昭氏の名で、子育て支援特別手当の執行停止の文書が届いた。町独自でということであるが、新型インフルエンザ対策費も捻出しており、支援は難しいと

判断した。

（川本議員）

問 予備費（4853万円）を使って町独自の支援ができるのではないか。

（総務課長）

答 予備費は、今年度の退職者の特別納付金もあり、厳しいと思う。

全員賛成 可決

国民健康保険特別会計
補正予算

〈内容〉

歳入歳出それぞれ335万円を追加し、総額20億6452万円とする。

全員賛成 可決



待ち望まれる「学童保育 中 子ども教室」の連携

下水道使用料 6%値上げを可決

長洲町下水道条例の一部改正

〈内容〉

下水道使用料を6%値上げするもの

〔主な質疑〕

〔池上議員〕

平成18年度に続き、下水道料金の改定となる。

町長の正直な気持ちを。

〔町長〕

公共下水道特別会計の健全な運営を行うための6%改定であり、平成19年度に作成された健全化計画に基づき値上げするものである。

〔福永議員〕

下水道の赤字は計画赤字として国に認められたではないか。今の経済情勢の中での値上げには疑問が生じる。

〔町長〕

財政健全化計画を遂行していくため、また、一般会計から多額の繰り出しにより、他の事業がたくさん残っている。今回の料金改定を認めていただきたい。

〔川本議員〕

料金改定の6%は何を根拠にしているのか、平成13年当時は10トンあたりの使用料は1000円、今回の値上げで1600円になる、納得できない。

〔下水道課長〕

国や県との協議で、4年ごとに6%の料金改定をと指導があつている。また、近隣市町の料金も参考にした。

反対討論

川本 幸昭議員

今回の使用料値上げは、国の圧力によって提案されたものであり到底容認できない。これは地方自治の本旨に違反ではないか、使用料や料金の設定は自治体の判断によって行うものであり、撤回を強く求める。

下水道の赤字は町民に責任はなく、行政運営に問題があつたためであり、町民への負担なしで赤字解消を目指す

すべきだ。企業排水の下水道への直結などを行えば町民への負担なしで財政再建はできる。

賛成討論

磯野 博議員

公共下水道事業においてその財源は国庫補助金を除くと大部分が地方債の借入れである。今後も将来にわたる健全財政及び累積赤字解消のため、定期的に下水道使用料の算定・見直しを行い、その中で町民の理解と協力が得られるよう更なる経営安定化が望まれる。

公営企業経営健全化計画にのっとり、下水道事業の赤字解消に最優先に取り組まれ、諸課題に適切に対応する姿勢が表れており賛成する。

賛成多数 可決

熊本市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更

〈内容〉

城南町、植木町が熊本市と合併のため。

全員賛成 可決

熊本県後期高齢者医療連合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部改正

〈内容〉

城南町、植木町が熊本市と合併のため。

全員賛成 可決

職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び長洲町職員の育児休暇等に関する条例の一部改正

〈内容〉

職員の勤務時間を、8時間を7時間45分にするもの。週40時間を38時間45分にするもの。

全員賛成 可決

長洲町税条例の一部改正

〈内容〉

(1)、(2)に該当する者に対する町税の減免制度の拡充。

(1) 失業等により前年に比し所得が著しく減少したため、町民税の納付が困難と認められる者。

(2) 天災その他これに類する災害により資産につき損失を受けた者。

全員賛成 可決

長洲町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

〈内容〉

指定ごみ袋に特小袋を新しく作るもの。一枚12円

全員賛成 可決

長洲町浄化槽施設整備事業に関する条例の一部改正

〈内容〉

浄化槽使用料を6%値上げするもの。

賛成多数 可決

財産の取得について

〈内容〉

取得目的

学校における児童生徒の情報活用能力の育成

取得する財産

パソコン78台

設置場所

六栄小、腹赤小、長洲小各21台。清里小15台。

契約金額

1219万5千円

契約の相手方

熊本市・西部電気工業(株)

契約の方法

条件付一般競争入札

【主な質疑】

【問】(福永議員)

今回の入札参加は2社。あまりにも参加資格が厳しいのではないか。町内業者育成の観点に重きをおいた条件付一般競争入札にしていくのがふさわしいと思うが。

【答】(町長)

町内業者の育成に

は努めていきたいし、業者側も、入札の公告ができれば、応札してもらえらるような態勢をと願っている。

【問】(川本議員)

平成22年の4月からパソコンが使用できるときの事だが、詳しい内容を。

【答】(学校教育課長)

主に小学校の教育用のパソコンの導入であり、今年度、国の経済対策での補助により購入するものである。

【問】(川本議員)

11月9日の入札参加が6社、今回が2社。広く誰でも参加できるように一般競争入札にされたのではないか。

【答】(町長)

指名競争入札も弊害があり、誰でも参加できるように一般競争入札にしたが、今後多くの業者が参加して入札が行えるよう取り組みたい。

国へ意見書を提出

(総務保健福祉常任委員会)

【提出請願】

請願第1号 改正貸金業法の早期完全施行等を求める請願書

【提出者】

熊本県青年司法書士会 会長 黒田正志

【請願の趣旨】

- 1 改正貸金業法を早期に完全施行。
- 2 自治体での多重債務相談体制の整備のため相談員の人件費を含む予算を十分確保するなど相談窓口の拡充を支援。
- 3 個人及び中小事業者向けのセーフティネット貸付をさらに充実させる。
- 4 ヤミ金融を摘発することなど。

【常任委員会での審査結果】

今も多重債務問題で苦しんでいる人がたくさんおられる。早急に結論を出すべきとの意見も多く、全会一致で採択すべきものと決定。

【本会議】

委員会での審査結果を委員長が報告。全員賛成で採択。

【議案】

議提第8号「改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書」を議員提出議案として提出。全員賛成で原案可決。

【国へ意見書提出】

(衆・参議長、内閣総理大臣、他関係大臣)に提出。

人事案件

教育委員会委員

大山 司朗氏(古城区)を再任

(抱負)



私は子ども3人六栄小学校、腹赤中学校とお世話になりました。その間、先生方には親身になってお世話いただきました。小学校、中学校は、学問を学ぶだけでなく、将来立派な成人となるための人格的素養を身につけていく、とても重要な時期であると思います。その手助けに少しでもなればと願っております。

木下 信博氏(磯町区)を新任

(抱負)



教育委員の木下信博です。職責の重大さに身の引き締まる思いがします。学校支援コーディネーターとして地域と各学校を回っていました。多くの方々の学校への期待を感じています。将来を背負って立つ子どもさん方が心身ともにすこやかに成長されることを願っています。微力ですが全力で当たってまいります。

固定資産評価委員

竹本 康美氏(清源寺区)を新任

町政を問う

磯野 博 議員	1. 役場駐車場について 2. 新山地区建設予定ループ橋の町負担について	市原 一廣 議員	1. 安心できる医療体制の確立を 2. バスルートの見直しを
浦邊 朝章 議員	1. 人口流出の防止と町施策について 2. 環境対策と町の施策について	池上 満則 議員	1. ミニポートピア長洲について 2. 交通安全対策について
宮本哲太郎 議員	1. ループ橋について 2. 県計画の幹線道路について 3. 消防団の統廃合について	福永 栄助 議員	1. 施政方針について
		川本 幸昭 議員	1. 雇用問題について 2. 福祉の充実について 3. 環境問題について

問 新山地区建設予定の跨線橋において、町の負担金が2億円とことだが本当か。

答 (町長) 都市計画道路長洲玉名線と国道389号線間のJR鹿児島本線をまたぐ都市計画道路新山海岸線とそれにかかる跨線橋は県が事業主体となつて施工している。地方財政法第27条第1項に「県は建設事業による受益の限度において市町村に対し建設事業の経費の一部を負担させる事ができる。」となつており全体事業費の約20億の10%2億円が町の負担割合になる。



磯野 博
議員

**建設予定の
跨線橋について**



約50年前の計画が進む

問 役場駐車場において縁石が高いため

答 (建設農政課長) 昭和37年8月1日付で計画の決定がされており現在工事している所は、平成16年度から23年度まで県が事業認可を受けて実施している。事業の進捗次第では、平成25年度から26年度にずれ込む可能性が高い。

答 (総務課長) 歩道の縁石に色を塗るなどの対策を講じたい。

答 (町長) 役場駐車場は消防訓練で使用したり、災害時には避難場所として利用する場合がある。車輛どめは車の接触防止には有効であるが現在の利用状況、歩行者を考慮すると設置できない。十分に注意をされた駐車場の利用をお願いしたい。

答 (町長) 役場駐車場は消防訓練で使用したり、災害時には避難場所として利用する場合がある。車輛どめは車の接触防止には有効であるが現在の利用状況、歩行者を考慮すると設置できない。十分に注意をされた駐車場の利用をお願いしたい。



浦邊 朝章 議員

人口流出の防止策は

問 人口減少が進んでいるが、転入転出の現状と傾向の把握は。

答 (町長) 平成10年の1万8600人をピークとして減少傾向にある。平成11年から転出者が転入者を上回り、人口流出という現状にある。

5500人程度が予想される。そのスピードを鈍化する施策をとり、目標推定人口を1万6000人としている。

問 町内への転入者が住宅を建築した場合、税法上の優遇策はないか。

答 (税務課長) 町独自の減免制度や、住宅建築の奨励金などの優遇制度は設けていない。

問 CO₂削減や太陽光発電への町からの補助金等はないか。

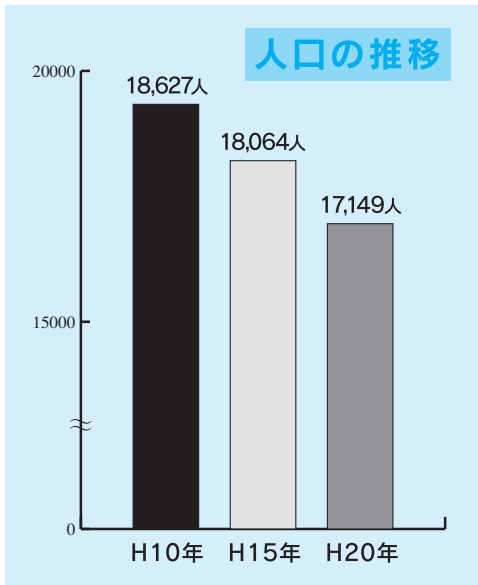
答 (町長) 町では太陽光発電等への補助金は行っていないが、県の事業として補助を実施している。

問 優遇施策を行っている町もあるが。

答 (税務課長) 玉東町、和水町などで定住促進の奨励金や固定資産税の減免制度を設けている。町は財政状況が厳しくできないが、今後は人口が増える施策も検討していきたい。

問 人口減少は町の財源にも大きな影響がある。各種町税や使用料、交付金についても減少する。第5次振興計画の中で人口の減少をどうとらえているか。

答 (まちづくり課長) 第5次総合振興計画は今、策定中ですが、平成31年の人口は1万



10年で約1,500人減少

問 幹線道路と国道389号線を跨線橋(ループ橋)で結ぶ計画があるが町の負担金は発生するか。

答 (町長) 長洲都市計画道路新山海岸線及び跨線橋の全体事業費は20億円と伺っている。

問 南関インターから上沖洲までの工事進捗を3月定例会で質問したがまだ先が見えない。

答 (町長) 荒尾市と連名で今月中に知事へ要望する。



出初式での雄姿

問 玉名事務所では計画道路の青写真が消えていると聞くが。

答 (建設農政課長) 町の経済が諸事情により施工困難だから県で行うよう要望されたと聞いている。

問 消防団の統廃合について時期的にも考える時ではないか。

答 (町長) 団員確保の困難が挙げられる。5月の分団長会議で現体制での維持を確認している。地域の事情など兼ね合いもあり難しい。将来的には検討する。

宮本 哲太郎 議員

見直そう跨線橋

《ループ橋について》
幹線道路と国道389号線を跨線橋(ループ橋)で結ぶ計画があるが町の負担金は発生するか。

答 (建設農政課長) 県事業市町村負担に係る県市町村連絡会議を設置し要望活動をする。

《県計画の幹線道路について》
南関インターから上沖洲までの工事進捗を3月定例会で質問したがまだ先が見えない。

答 (町長) 荒尾市と連名で今月中に知事へ要望する。

問 玉名事務所では計画道路の青写真が消えていると聞くが。

答 (建設農政課長) 町の経済が諸事情により施工困難だから県で行うよう要望されたと聞いている。

《消防団について》
消防団の統廃合について時期的にも考える時ではないか。

答 (町長) 団員確保の困難が挙げられる。5月の分団長会議で現体制での維持を確認している。地域の事情など兼ね合いもあり難しい。将来的には検討する。



安心できる
医療体制の確立を

市原 一廣 議員

問 小児科や産婦人科病院の閉鎖・縮小のニュースがふれ、今、地域医療を取り巻く状況は深刻である。自治体としても現状をしっかりとらえ、問題解決に取り組まなければ、10年後、20年後の安心した地域医療の展望は開けない。そこで、今、長洲町で開業されている医療機関を核とした総合病院を誘致してはと思うのだが。町の将来を今真剣に考えなければ手遅れになってしまう。

答 (町長) 住民にとって身近な荒尾市民病院は7月に県から地域医療支援病院として承認され、救急医療の強化が今後図られる

とと思う。また総合病院も町立は財政上厳しいが、町にない眼科、耳鼻科、産婦人科などの病院や施設の誘致には全力を傾けていきたい。

《荒尾シテイモールまでバスルートの延長を》

問 長洲・荒尾環状線は市民病院までの折り返し運行である。シテイモールまで延長すれば、荒尾養護学校や有明高校に通学している生徒の足としても便利になるし、荒尾シテイモール周辺には、長洲町にない

医療機関(皮膚科・眼科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・小児科・産婦人科・胃腸科等)が集まっており、高齢者にとって利便性が高まると思うのだが。

答 (町長) 長洲・荒尾環状線バスは住民の荒尾市民病院への足として平成11年に行を開始した。利用者も減少しており、今後の路線も含め、見直す方向で検討する。

問 ミニポートピア長洲がオープンするが町の対応は。

答 (まちづくり課長) 協定書に基づき発生した諸問題に対応するため、地元自治会役員など関係者で構成する運営協議会を設置することになっているので、大村市にお願いしている。

問 12日にオープンするのに設置できていないのは対応が遅すぎる。何故か。

答 (まちづくり課長) オープン後いろんな問題が出てから協議すると考えていた。早急に対応する。

問 大村市から町への納付金の使い方は如何に考えているか。

答 (町長) 現時点で、子育て支援、教育



“いのち”を支える大切な医療



ミニポートピアが
オープン

池上 満則 議員

問 環境整備、健康づくり、地域住民の地域づくりなどの財源にと考えている。

問 下水道の赤字解消や高齢者福祉に絞ってこの財源とする考えはないか。

答 (町長) 使途は議会のみなさんと相談しながら使う。

問 十分な交通安全対策を》

答 (町長) 塩元J A 六栄支所西側の三叉路の安全対策は現状でよいか。

問 屋赤崎線が優先道路で、上沖洲鷺巣線は一時停止で

ある。道路標識・カーブミラーがあり現状でよい。

問 対策はそうだし、でも交通状況はそうでない。上沖洲鷺巣線が交通量が多い。多い方が優先道路になると考えるが「止まれ」の標識を塩屋赤崎線に移し車などの流れを円滑にしているどうか。

答 (総務課長) 荒尾署の交通係に再度確認する。

問 三叉路、下方はJR踏切

のみなさんと相談しながら使う。

《十分な交通安全対策を》



三叉路、下方はJR踏切



福永 栄助 議員

施政方針について

問 「現状の変革・チャレンジ」、「新しいことへのチャレンジ」、「早急な対応・スピード」以上三つの風を起こしたいとあるが、今の現状に対してどう変えていくのか、そして何に對して挑戦をするのか、そしてスピードとあるが、どのようなことに對して早急な対応で臨もうとされるのか、見解を伺う。

答 (町長) 多くのことから長洲町が現在非常に停滞していると、そういう声を聞き、それでは自分の31年間の行政手腕が少しでも発揮できるかという思いで出馬を決めた。しかしながら、なかなか私も、チャレンジ、チャレンジ、現場の変革、こ

れはやはり停滞した長洲町を活力ある町に変えよう、夢と希望のある町に変えよう、こういう思いでチャレンジを

求めてきている。また、チャレンジをするに当たっては、やはりスピードを持った対応をしていかなくてはならない。また、いろんな新しいことへのチャレンジ、今までできなかったこと、こういうものを町民の創意工夫をもってチャレンジしていかなくてはならないということだ。

(施政方針)

地方分権の推進、三位一体の改革をはじめ、国のシステムが大きく変貌する中、町、始まって以来という危機的な財政状況に直面するこの時期、町民の皆様の町政運営に寄せられる期待の大きさを肌で感じつつ、自らに課せられた指命の重大さを、改めて胸に刻んでいるところであります。この職責の重さをしっかりと受け止め、町政の舵取り役とし、「率先垂範」、自らが先頭に立って、自身の持てる全てを愛する郷土・長洲町に捧げる所存であります。

私は、この愛する長洲町に「新しい風」を起こしたいと思えます。一つ目の風は、「現状の変革 (チャレンジ)」であります。二つ目の風は、「新しいことへの挑戦 (チャレンジ)」であります。そして、三つ目は、「早急な対応 (スピード) の、以上三つの風であります。この風によって、夢が見れる・希望が持てる・活力が感じられる、そんな魅力あるまちづくりに向けて、町民総力を挙げて取り組む所存であります。

中逸町長の「施政方針」より抜粋

問 1才年齢を引き上げで、年間300万円であり、段階的に年齢を引き上げるなら

答 (町長) 子どもを安心して育てて行く上で、子どもの医療費の軽減は重要な施策と思ひ、今年7月から9才まで拡大した。和水町、玉東町が15才まで実施していることは承知している。今後、財政状況を考慮しながら検討したい。

問 町村で実施している。その中には、12才、15才までもある。人口減少をくい止めるためには、教育、医療の充実が必要である。長洲町でも実現すべき。町長の決断を求めます。

答 (町長) 子どもを安心して育てて行く上で、子どもの医療費の軽減は重要な施策と思ひ、今年7月から9才まで拡大した。和水町、玉東町が15才まで実施していることは承知している。今後、財政状況を考慮しながら検討したい。



川本 幸昭 議員

子どもの医療費無料化 中学3年まで拡大を

問 県下でも、9才以上の無料化は26市町村で実施している。

答 (町長) 段階的という意見を受け止め、財政状況を見ながら検討したい。

問 ゼーナキは、今年の3月で養魚組合がミジンコの生産を中止している。環境や安

答 (町長) 現在、池は返還され、町で管理を行っている。環境や危険性も指摘されていたので、10月から11月にかけて周辺の環境対策に努めてきた。埋め立てには経費がかかる。将来的には埋め立て整備も必要と考えている。



環境整備を早急に

全面からも整備が求められている。地元の宮の町や新町の期待に応えよ。池を埋め立て、公園やグラウンドゴルフができる施設にすべきではないか。

答 (町長) 現在、池は返還され、町で管理を行っている。環境や危険性も指摘されていたので、10月から11月にかけて周辺の環境対策に努めてきた。埋め立てには経費がかかる。将来的には埋め立て整備も必要と考えている。

追跡 レポート

あん質問は どがんなった

問

(平成20年6月 一般質問)
六栄保育所前、園児の送迎

六栄保育所園児の送迎時間帯は路上駐車等で混み合い危険である。駐車場確保等、対策は。



答 弁

門扉付近の園庭の一部を駐車場として利用できないか、近隣の土地を借りることができるか検討したい。



問

(平成20年3月 一般質問)
交通安全対策について

長洲小、中学校の通学路である四王子神社東側の通りは道幅も狭く危険だ。朝の通学時間帯、交通規制はできないか。



答 弁

保護者や、見守り隊の方から危険を危惧する声がある。今後関係機関と検討する。



● ● ● ● ● **その後の対応は** ● ● ● ● ●



(六栄保育所南側)

整備された駐車場



(四王子神社東側)

安心・安全な通学のため
朝7時から8時までが交通規制となった。
(長洲中東側も同様)

新型インフルエンザ 予防接種助成

第6回臨時会が11月30日に行われ、条例の制定1件、一般会計補正予算とその他7件が上程され慎重審議の結果、全て原案のとおり可決し、閉会した。

平成21年度 一般会計補正予算

〈内容〉

歳入・歳出それぞれ6847万円を追加して歳入・歳出それぞれ56億2322万円とするもの。

〔主な質疑〕

問 (池上議員)
耐震診断業務委託の予算が補正に上がった経緯は。

答 (建設課長)
新山団地2棟においてコンクリートの剥離がありそれに伴い耐震の調査、一次診断を行うため。

問 (福永議員)
歳入において法人税6000万が計上されているが。



答 (総務課長)
法人税において非常に予測が難しく低く見積もったところ思いのほか業績が上がったために納税となった。

問 (川本議員)
ほかの議案は緊急性があるものなのか。

答 (総務課長)
住民サービスを早急に進めるといふ観点からいけば考えていくべきと思う。

長洲中学校・腹赤小学校にイス式階段昇降機設置

〔主な質疑〕

問 (市原議員)
イス式階段昇降機設置工事の予算がなぜこの時期に計上されたのか。

答 (教育長)
今後十分に確認していく。



階段の昇り降りをサポート

答 (学校教育課長)
障害を持つ生徒達が安心して支障なく学校生活を送るために本対策を措置して今回の補正となった。

問 (市原議員)
十分に安全で実績があるところのものか。

答 (学校教育課長)
設備関係は十分に検討した。実際に設置してある学校にも確認等してある。

問 (池上議員)
事故があったという事例があれば安全対策をとってもらいたい。

答 (教育長)
今後十分に確認していく。

賛成多数 可決

新型インフルエンザ
優先接種者
7800人
全額助成

幼児・小・中学生

2回接種 6150円

対象者数 2600人

妊婦1歳未満児保護者

1回接種 3600円

対象者数 420人

65歳以上の高齢者

1回接種 3600円

対象者数 4370人

基礎疾患者

1回接種 3600円

対象者数 約460人

合計

3493万

3000万の予算

第6回臨時会

住民サービスを早急に!!

長洲町一般職の職員
の給与に関する条例
等の一部を改正する
条例の制定

〈内容〉

民間企業等の情勢分析に基づく平成21年8月の人事院勧告を受け、勧告に沿った制度運営を図るためには、この条例を制定し減額するものとする。

〔主な質疑〕

〔川本議員〕

〔問〕年間で総額どの程度減額するのか。

〔答〕(総務課長)

一般会計において1032万の減額である。

〔問〕(永田議員)

職員定数は182名で現在147名である。

〔答〕(総務課長)

〔問〕(総務課長)

集中改革プランにおける定数の見直しで平成26年度に134名の目標の計画で進んでいる。

〔問〕(福永議員)

現在の経済状況を考えるとさらに消費マインドが下がるのではないか。

〔答〕(町長)

経済対策ができないものかと検討している。

〔問〕(福永議員)

人事院勧告は従わなければならないのか。

〔答〕(町長)

民間企業との格差が余りにも生じている。人事院勧告を受け入れたい。

反対討論

永田 則人議員

現在、職員定数より35名削減している。一人当たり平均700万円として約2億4500万円すでに削減している。地方公務員法第24条3項は知っているが、国の政権が変わって見直しの可能性がある。また、町民の公僕としてより一層働いてほしい。故にこの議案

は反対である。

賛成討論

浦邊 朝章議員

今回の給与改定は、平成21年8月の人事院勧告を受けたもので、急速な景気悪化による民間企業等の情勢を考慮したものだ。

職員の給与は、「生計費並びに国及び他の地方公共団体の職員の給与その他の事情を考慮して定めなければならない」と規定されており、国の職員、県内の他町との比較、さらには県内の民間従事者との比較のために人事委員会の勧告、これらを総合的に勘案すれば、この改正が必要と考え本議案に賛成をする。

賛成多数 可決



国民健康保険特別会計
補正予算

〈内容〉

歳入歳出それぞれ199万円を追加し総額20億6116万円とする。

賛成多数 可決

介護保険特別会計
補正予算

〈内容〉

歳出において人事院勧告に伴う職員給与等の削減分と共済費の負担割合増額分の4万4千円を予備費で調整した。歳入歳出総額は変更なし。

賛成多数 可決

後期高齢者医療特別会計
補正予算

〈内容〉

歳出において人事院勧告に伴う職員給与等の削減分と共済費の負担割合増額分の63万9千円を予備費で調整した。歳入歳出総額は変更なし。

賛成多数 可決

公共下水道特別会計補正予算

〈内容〉

歳出において人事院勧告に伴う職員給与等の削減分と共済費の負担割合増額分3万7千円を予備費で調整した。歳入歳出総額は変更なし。

賛成多数 可決

浄化槽施設整備事業
特別会計補正予算

〈内容〉

歳入歳出それぞれ9万円を追加し総額1779万円とする。

賛成多数 可決

水道事業会計補正予算

〈内容〉

収益的支出6千円と資本的支出の3万円を人事院勧告に伴う減額及び共済費の増額によるものとする。

賛成多数 可決

教育委員会委員の任命

〈内容〉

大山司朗氏の任命に同意した。(新任)

賛成多数 可決

全員賛成 可決

おかげさまで第100号(潮さい)

記念すべき創刊第1号議会だよりの表紙



傍聴席から一言



鹿本 隆彦さん (出町区)

私自身、数年前に帰郷し、素晴らしい故郷を誇りにしておりました。ある日、突然財政が全国でワーストである事を知り驚きました。それ以降、時間が許す限り傍聴に参加致しております。当日は議会初日にもかかわらず傍聴者、わずか2名、啞然といたしました。

質疑応答にしても、自分の仕事としての責任感、使命感も伝わってこない、緊張もなく、消化ゲームを見ている雰囲気でした。

質問項目にいたっては議会ですり上げるものでなく、専門部会があればそこで解決できる項目であるように感じた。財政が厳しい一言で終わるのではなく、今こそ強いリーダーのもと、知恵を絞り、メリハリのある仕事をすすめるとともに、未来に希望が持てる政策、ビジョンを掲げ、一丸となって邁進してもらいたい。なお我々町民も、町政に関心を示していかなければならないと思います。

わが町

議会だより「潮さい」は昭和58年5月に議会だよりとして第1号が創刊され、議会の内容をわかりやすく、読みやすくをモットーに議会の広報誌として皆様に愛読されてきた。今回2010年2月に発行する議会だより「潮さい」は記念すべき第100号であり、今後も更に内容を充実し、ますます住民の皆様が親しまれる議会広報誌を目指

おねさん傍聴に来てください

次の定例会は

3月10日開会の
予定です

■問い合わせ先は
議会事務局
電話 78-3111 内線321番

手続きは住所・氏名・年令を書くだけです

発行責任者	議長	委員	委員	委員	委員	副委員長	広報委員
松井 一也	川本 幸昭	上野 弓雄	濱村 芳光	磯野 博	樋口エミ子	市原 一廣	

し広報委員が知恵を出し合い編集していきたい。(上野)